

薬用植物園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2019年
6月19日
第67号



ソバ（タデ科）

今、第二圃場で実を結びつつある白い小花が沢山見られます。原産は中国雲南省と言われており、日本にも自生します。全草を民間で薬用に用いられますが、特に果実を古くから「そば」の原料として使用されて来たのはご承知のとおりです。含有成分の一つのルチンは俗に「健康に良い」として、健康食品素材として使用されています。栽培には土地を選ばず、日照りや冷涼な気候にも強く、収穫が早いので、冷害で稲が凶作の時や飢饉の時の代替作物とされてきました。5～6月に種子を播き7～8月に収穫するものを「夏そば」、8月の立秋前後に播き、10月頃収穫するものを「秋そば」といいますが、秋早くに収穫したものは香気が高く、特に「新そば」といいます。

トケイソウ（トケイソウ科）

薬草園北東入口の前、講義棟の側面を這い上るつる性植物に花が見られます。南北アメリカ大陸の熱帯・亜熱帯地方に自生しています。雌蕊が3つに分かれ、時計の長針、短針、秒針にたとえられます。トケイソウ属には約500種ほどの種があり、そのうちクダモノトケイソウは、その果実をパッションフルーツとして食用にしたり、地上部を「パッシフローラ」という名の西洋生薬として、抗不安・鎮静薬、更年期障害などに利用します。

時々、トケイソウの事をクレマチスと言う人がいますが、それはキンポウゲ科でまったく違うものです。なお、園内で栽培されているテッセンはクレマチスの一品種で、おそらく園芸種です。

今、こんな草木が楽しめます！！